

「大阪府高等学校生物教育研究会協力会」たより 第15号

## 「大阪府高等学校生物教育研究会」協力会だより

第15号(2016年6月)

[▶▶ だより第14号へ](#)

### 「チームとしての研究会」

[▶▶ だより第16号へ](#)

会長 中野 俊勝

向暑の候、協力会会員の皆様におかれましては、日々ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、協力会の活動に深いご理解とご厚情を賜っていますことに、心よりお礼を申し上げます。

さて去る6月10日、府立大手前高校にて開催されました平成28年度大阪府高等学校生物教育研究会総会におきまして、会長の交代(吉村烈先生から寺岡正裕先生へ)があり、また研究会事務局が17年ぶりに府立枚方なぎさ高校へ移転するなど、大きな変化がありました。そして、心配されました熊本県での今年度の全国大会は、内容の変更が多少あるものの、実施されると報告がありました。

この総会において、今回も来賓としての挨拶に続いて、協力会会員の皆様の心のこもった助成金10万円を寺岡新会長さんに贈呈いたしました。

ところで、昨年12月に中央教育審議会答申として、「チームとしての学校の在り方と今後の改善について」が出ました。

この答申の中での取り組みとして、授業に関して、「アクティブ・ラーニングの視点から不断の授業改善」、そして教員の業務に関して、「専門スタッフ等との協働により複雑化・多様化する課題に対応しつつ、教員は教育指導により専念」等があります。

そう言いますと、研究会の今年度の重点目標の一つとして、府内3つの地区(北、中、南)で経験の浅い教員の育成に向けた地区実験研修会の取り組みが発表されました。

加えて研究会から、これまで数々の実験開発に関わってこられた協力会会員の方々のご指導・ご協力を頂きたいと要請がありました。つきましては、「チームとしての研究会」の一機関として、今後も研究会に深く関わっていくべきと考えております。

此の度の研究会からの期待に応えて、実験研修会等にご協力いただける場合には、協力会事務局辻本昭信先生にご連絡を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、協力会会員の皆様の今後一層のご健勝ご多幸を祈念申し上げますと共に、続きまして協力会へのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## ご 挨拶

大阪高等学校生物教育研究会会長(府立三国丘高校(定)) 寺岡 正裕

協力会の先輩がた、おはようございます！本校定時制では正門で生徒たちをいつもこの掛け声で18時前から迎えます。平成28年6月10日(金)大手前高校で行われた総会において、会長に選任されました寺岡正裕です。

しっかりと堅実に本研究会を率いてこられた吉村前会長からバトンを引き継ぎました。六十年以上に及ぶ本研究会の歴史に思いをはせ、偉大な諸先輩方が築き上げられてきた本研究会の会長を引き受けるのは私には荷が重いというのが正直な感想です。でも本研究会にはまだまだ教えを請うことができる先輩がた、また20～40代の若い先生方がいて、後ろでニコニコしながら支えてくれます。そしてこの協力会にはベテランの先輩方がどんとこいとバックアップしてください。だからこそこんな私でもやっていけるのかなと勇気を振り絞って重責を引き受けることにいたしました。

国のほうでは新学習指導要領改定に向けて動きだしており、キーワードはアクティブラーニングとカリキュラムマネジメントです。人工知能の進化、情報化、グローバル化という急激な社会変

化にも対応できる人材育成が必須となっています。去る5月25日の読売新聞で東大合格を目指す人工知能「東ロボくん」の生みの親である国立情報学研究所新井紀子教授のインタビューで教科書レベルの内容がきちんと読み取れない生徒がいることを述べておられました。例として「アミラーゼという酵素はグルコースがつながってできたデンプンを分解するが、同じグルコースからできていても、形が違うセルロースは分解できない。セルロースは( )と形が違う。」さて( )の中に入るのは、A:デンプン、B:アミラーゼ、C:グルコース、D:酵素のどれか？公立中学生の正解率は9%で公立高校生の正解率は33%だったとのこと。生徒たちの間違い方が、人工知能が陥りがちな間違いと同じなのだそうです。うーん、困ったものです。(答えはA)

我々教員は生物の基礎基本を教え、読解力を身につけさせ、生徒ともに思考することを通じて、主体的に学ぶ力と人としての大切なつながりや社会性の獲得、未来を読み解く力を育成することがますます求められます。10～20年後には、日本の労働人口の半分以上が人工知能やロボットに置き換えられる可能性が高いという野村総合研究所の試算が紹介されており「未来は大変なことになる」というわけです。人工知能を使ってクリエイティブな仕事に就くか、人工知能に使われる内職程度の仕事に就くかで人としての生きがいも変わってきます。

こんな時代だからこそ本研究会の活動がますます必要になってくるものと信じます。人工知能にないもの。それは何か。それは「好奇心」に他なりません。研究会は「好奇心」を満たしてくれる場であるからこそ、みなが自分の時間と金を使い、手弁当でその場に参集し、熱く「生物」を語り、ほんまものの「生物」に触れ、多様性？を確認してきたわけです。そしてこのような場で、活躍された先輩方が「協力会」におられます。今後も現役の教員にいっぱい刺激を与えるためにもどんどん研究会の催しに参加いただくとともに、協力会の諸行事にも参加いただき、研究会と協力会がともに切磋琢磨し合えるような関係であればいいなと願います。今後も先輩方のご健勝を祈念するとともに協力会から本研究会に対し、人的・金銭的援助をよろしく願いして、私の挨拶に代えさせていただきます。

## 1 今年度(2016年)の行事

どの行事も、参加者希望者は3日前までに事務局(辻本)へTELかFAXして下さい。詳細をお知らせします。

### (1)第8回総会(研究会総会と同日に実施済み) 詳細は別紙総会資料と下記報告

平成28年6月10日(金)大阪府立大手前高校聴覚室 3:00より研究会総会

研究会総会後の記念講演 『ボルネオ緑の回廊プロジェクト』

講師:ボルネオ保全トラストジャパン 中西宜生 先生

4:30より協力会総会 5:20より懇親会

### (2)歴史散歩 第8回「西高野街道を歩く」一河内長野駅から滝谷駅まで一

(松本先生による案内、問い合わせはTEL0721-23-5480)

1、日時:平成28年11月17日(木) 13時00分集合 ・・小雨決行

2、集合・解散場所:集合は南海・近鉄河内長野駅改札口

解散は南海滝谷駅改札口16時頃の予定

3、資料は当日配布

コースは ①河内長野駅 ②極楽寺 ③吉野行者堂(九里) ④原の十三仏

⑤原の辻 ⑥清明塚 ⑦明忍寺 ⑧楠町東道標 ⑨盛松寺

⑩楠町西道標 ⑪松林寺 ⑫西国三十三度供養碑 ⑬滝谷駅

### (3)植物観察会・・・研究会の行事「森林生態研究部会」に参加

宮井 一先生(枚方なぎさ高校)にお願いして、一緒に参加させていただきます。

日時は平成28年10月11日(火)、12日(水)、13日(木)のいずれかの日

行先は未定 8月下旬に決まるので、協力会事務局まで問い合わせ下さい。

### (4)研究会行事に参加

①「会員研究発表会」毎年1月下旬から2月初旬に行われる。

②「生徒生物研究発表会」毎年11月23日(祝)午前10時から大阪長居公園内

大阪市立自然史博物館で行われる。研究発表部門と活動報告部門とがある。

**《報告記事》 平成28年度 生物教育研究会協力会総会・・・総会資料は別紙**

6月10日(水)午後4時30分から(生物教育研究会総会の後)大手前高校視聴覚室

出席者:中野、牧野、辻本と賛助会員数名、研究会会員はオブザーバー参加

次第 (司会 牧野)

挨拶(協力会会長 中野)

平成27年度行事報告・会計報告(辻本)

平成28年度行事計画・会計予算(辻本)

閉会の挨拶(賛助会員代表 寺岡生物研究会会長)

その後、近くの店において、総勢20名で懇親会が行われた。

**《報告記事》 平成28年度 生物教育研究会総会報告**

牧野修司 記

研究会総会と記念講演が6月10日(金)に、大阪府立大手前高等学校において行なわれました。

協力会正会員の出席者は、中野俊勝会長、辻本昭信氏、牧野の3名でした。

総会の冒頭、来賓の挨拶で中野会長が研究会への激励を行なうとともに、研究会の寺岡正裕新会長に助成金を贈呈しました。

研究会総会では、平成27年度の会務、会計、会計監査報告の後、平成28年度の会長として、寺岡正裕氏(三国丘高等学校定准校長)がなることが決まりました。

吉村烈会長には、これまでのご苦勞に感謝申し上げます。

また、新事務局長に岡本元達氏(大阪府立枚方なぎさ高等学校)、新事務局に高嶋浩紀氏(大阪府立三国丘高等学校)及び河内康孝氏(大阪府立泉陽高等学校)が選出された。

17年間に渡り研究会事務局長として、活躍された北浦隆雄氏に感謝申し上げます。

さらに、平成28年度委員、運営方針、予算などが承認されました。事務局を含め委員には、かなり若い世代が増えています。

#### <記念講演>

講師:ボルネオ保全トラストジャパン 中西宜生 先生

演題:『ボルネオ緑の回廊プロジェクト』

講師の中西宜生先生は、サラヤ株式会社の研究員として、ヨルダンで環境保全型農業の指導等をされた後、ボルネオ保全トラストジャパンの理事として、ボルネオの生物多様性保全のために、活動されています。

まず、ボルネオゾウの惨状から、今ボルネオの熱帯雨林で何が起きているのか問いかけられた。動物や植物の多様性、また、薬になる植物がきわめて多いことや、自然から人間が学ぶことの多いことなど、熱帯雨林が極めて貴重であることがわかる。

そのボルネオの熱帯雨林が消失していつている。その原因はパーム油の採取のためのアブラヤシのプランテーションとしての農地転用、焼き畑などにより急激に消失地域が広がっていることである。

その結果、オランウータンなどは、分断された保護区・保存林で孤立化している。また、ボルネオゾウは、元々移動していたところにプランテーションができ、人間との衝突がおこり、ワナにかかってケガをする子ゾウも増えているとのことである。

分断され残った熱帯雨林の間の土地を購入するなどして回廊を作り、野生動物の分断された生息地をつなぎ、移動が可能になるよう「ボルネオ緑の回廊プロジェクト」を進められている。

オランウータンは、泳げないため川を渡れないので、日本の消防ホースを使った、吊り橋作りのプロジェクトが行われている。ゾウなどの野生動物のレスキューセンターでは治療や保護活動もされている。

しかし現在、ボルネオのサバ州の東側海岸部は武装勢力の侵入などで危険情報が出ているとのことである。

今、私たちのできることは、ボルネオの現状を知り、自分たちの暮らしを見直すことや「ボルネオ緑の回廊プロジェクト」に協力することがあげられる。

画像などを入れ、分かりやすくお話しされ、ボルネオ保全トラストジャパンの「ボルネオ緑の回廊プロジェクト」のパンフレットもいただき、理解が深まった。

## 2. 平成28年度予算

収入	支出
前年度繰越金 197,157円	発送経費(第14号、第15号)
会費・寄付金 140,000円	13,000円
	会費払込料金 4,000円
	事務費(コピーなど) 2,000円
	助成金 100,000円
	予備費 218,157円
<u>収入合計 337,157円</u>	<u>支出合計 337,157円</u>

## 3. 28年度『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』会員 (H28.6.25 現在)

(記載順は生物教育研究会会誌役員名簿による)

(正会員)

今安達也	松田仁志	和佐真宏	江坂高志	中原 圓
渡邊勉治郎	足立 堯	萱村善彦	福坂邦男	古久保俊子
吉川 浩	河野成孝	梶村重次	中野俊勝	辻本昭信
松本 弘	山住一郎	澄川冬彦	奥本 隆	石崎英男
富田織江	小畑和人	田中正視	牧野修司	奥野嘉彦
大江 進	竹林隆昭	大島みどり	杉山友恵	平岡誠志

広瀬祐司

以上31名

(賛助会員)

以上5名 ★住所、電話等の個人情報につ

いては事務局へお問い合わせください。

#### 4. 会員の近況(順不同)

この欄は、振込用紙やはがき等により連絡があったものを記載します。

皆様もどうか一報ください。また、投稿記事も歓迎します。

萱村嘉彦

身も心も元気を失ってきました。年齢は正直です。

柴原信彦

この4月より大阪市立第二工芸高等学校の校長を拝命いたしました。今後ともよろしく願いいたします。

大島みどり

ご無沙汰しております。4月1日よりご縁をいただいて南海福祉専門学校校長に着任いたしました。

また、お会いできる日を楽しみにしています。

古久保俊子

松本先生の歴史散歩、残念ながら歩くスピードがとてもついて行けそうにありません。「咲くやこの花館」を楽しみにしていたのですが、生憎く2~3年に1度あるかないかの風邪気味となり、止むを得ず断念しました。「今年はどんなプランを。」と心待ちにしています。

渡邊勉治郎

富田林高校を最後に定年退職してすでに23年。やはり教育現場で生徒とともに過ごした時期が

最も楽しかった。授業では「生物」に興味を持たせようと実験・実習を多く取り入れた。今でも卒業



生と会うとそれが時々話題になる。「アカムシの染色体は何がなんだかさっぱり分からなかった」  
「実験で自分の血液型がわかり感動した」等々

澄川冬彦

皆様お元気でいらっしゃいますか。相変わらず、奈良学園高校のSSH担当としてバタバタしております。

福坂邦男

よろしくお願ひ申し上げます。平賀先生の訃報ありがとうございました。平賀先生とは、芥川高校のバトンをパスした仲でした。先生のご冥福をお祈りいたします。

田中正視

今年も満開に咲いたハマヒルガオが一面におおう海岸で子どもたちと清掃活動中です。ヒメボタルも5月初めには、早くも光り始めております。

寺岡正裕

いつもお世話になっています。平成28年度から吉村さんに代わり、会長職を引き継ぐことになりました。今年もよろしくお願ひします。

井上慎一

いつもご連絡ありがとうございます。生物研では名前だけの副会長です。4月から中津支援学校に異動になりました。

奥野嘉彦

研究会のご発展を祈念いたします。

平岡誠志

2016.3.31付けで退職しましたので、協力会の片隅に加えていただきたく思っています。

これから3年くらいは元気そうに感じますので、会費3年分を振り込みます。

木村 進

協力会費を振り込みます。いつもお世話いただきありがとうございます。

## 5. 協力会役員と事務局、

- ・会長・・・中野俊勝      ・ 副会長・・・牧野修司
- ・幹事(事務、会計、会計監査)・・・松本弘、梶村重次、大島みどり、辻本昭信
- ・賛助会員代表・・・吉村 烈、寺岡正裕
- ・事務局(辻本昭信)電話072-675-1710 メール [s.tsujimoto@tcn.zaq.ne.jp](mailto:s.tsujimoto@tcn.zaq.ne.jp) 迷惑メール

対策で◎にしています。

研究会のホームページ(<http://seiken.sub.jp/>)に「協力会だより」を掲載

 [Home](#) 